

「第8回ながさき水産科学フェア」開催について

長崎県総合水産試験場 企画開発推進室

はじめに

総合水産試験場は、新長崎漁港地区の国際海洋総合研究ゾーンで隣接する「独立行政法人西海区水産研究所」、「長崎大学環東シナ海海洋環境資源研究センター」と連携して「研究機関としての地域貢献」を目的に、各機関の概要や研究の内容などを県民の皆様に広く知っていただくために施設を一般公開する「ながさき水産科学フェア」を開催しています。

今年も10月17日に実施することとなりましたので、今回はその内容についてご紹介します。

各種イベント紹介

科学フェアでは、将来を担う子供達に、楽しく分かりやすく漁業や水産加工業、魚の魅力などを体験しながら理解していただけるよう、各種イベントを準備しています。

新調査船「鶴丸」船内見学

昨年10月に4代目となる新調査船「鶴丸」が進水しました。「鶴丸」は、本県の漁船漁業振興のため、資源や漁場環境の調査を行っています。科学フェアで披露するのは今年が初めてです。船内案内や設備機器の説明、水中テレビカメラによる海底観察の実演を行います。また、船長帽をかぶっての記念撮影もありますので、科学フェア来場の記念に是非お立ち寄りください。

栽培種の稚魚数あてゲーム

栽培漁業の対象種について、放流技術の開発

や放流効果の解明に取り組んでいます。放流する魚の稚魚はどのような姿をしているのでしょうか。水槽内で泳ぐ稚魚を探しながら、栽培漁業を学んでいただけます。

種苗生産親魚の展示

放流や養殖の新たな対象種の種苗生産技術の開発を行っています。種苗生産を行うためには、卵を産む親魚を飼育管理する必要があります。親魚を眺めながら、種苗生産を学んでいただけます。

海藻押し花しおり作り体験

藻場の海藻が消失する「磯焼け」が問題となっています。貴重な餌場や産卵場でもある藻場の回復技術の確立に取り組んでいます。海藻を少しだけ海からいただいて、藻場の大切さを学びながら、しおり作りを体験していただけます。

ちくわづくり体験

水産加工業発展のために、ニーズに対応した水産加工・流通技術の開発・改良に取り組んでいます。「ちくわ焼き機」と「県産冷凍すり身」を使って職人さながらの本格ちくわ焼きが体験できます。スタッフが手順を一から説明しますので、職人気分を味わっていただき、自身で作ったちくわの味を堪能していただけます。

赤潮プランクトンの観察

今年も有明海、大村湾、橘湾、九十九島などで赤潮が発生して養殖魚に被害を与えていま

す。この原因となる赤潮プランクトンを顕微鏡やモニターで実際に観察していただけます。

お魚 ×クイズ

海や魚にまつわる雑学クイズを ×形式で実施します。最後まで勝ち残った方には景品を用意していますので、楽しく学んでください。

隣接する「独立行政法人西海区水産研究所」、
「長崎大学環東シナ海海洋環境資源研究センター」でもたくさんの楽しいイベントが企画されています。

当日は、専門の研究員が海とそこに暮らす生物の話をわかりやすく紹介するサイエンスカフェも開催します。サイエンスカフェとは、お茶をお供に科学について気軽に語りあう「科学ふれあいの場」のことです。会場は西海区水産研究所となります。気軽にお立ち寄りください。

その他、三機関共同でのスタンプラリーも実施します。三機関を回って、スタンプを三つ集めた方には景品をお渡ししていますので、是非、全ての機関にお越しくください。

おわりに

科学フェアは、三重地区の新長崎漁港で催される「長崎さかな祭り」と同日開催しており、今年で8回目を迎えます。さかな祭り会場との間には無料のシャトルバスを運行します。さらに、車で来場される方には駐車スペースを三機関合わせて約200台分確保しています。

皆様に海や魚、長崎県の水産研究について興味をもっていただけるよう、内容になお一層の充実を図り、スタッフ一同準備を進めているところです。科学フェアについて、お問い合わせ

がありましたら、総合水産試験場企画開発推進室(095-850-6294)までご連絡ください。

10月17日、皆様のご来場をお待ちしております。

(担当 上利 貴光)